



シェイクアウト訓練のイラスト

**シェイクアウト訓練実施を
答 実施できるよう進めて行く**

河田 美穂 議員
(公明党)

〇 職員の人材育成を充実すべき。
(市長) 私の考えを直接伝えることで意識改革を促してきた。今後もしっかりと先頭に立ち、人材育成に努める。
〇 いつでもどこでも全員が参加できる「シェイクアウト訓練」を実施すべき。
(危機管理監) まずは平成31年の避難所運営訓練でぜひ実施できるように進めていきたい。
〇 ペットとの避難訓練もすべき。
(危機管理監) 各避難所の運営協議会の中で議論していく。
〇 避難訓練に参加している子どもたちへの対応を考えるべき。
(危機管理監) 訓練の中で子どもたちなどのような役割や作業を担ってもらうかなどは検討しているところ。
〇 災害時の備蓄品に「国産の液体ミルク」を加えるよう今から検討していくべき。
(危機管理監) 今後、国産の液体ミルクが流通することが見込まれる。その動向を見極めながら検討する。
〇 国の高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種助成制度は31年度から65歳の方のみとなる。市民の70歳以上が受けられる市独自の助成制度は継続すべきである。
(健康福祉部長) 現在のところ、今後の定期接種のあり方について国の方向性が示されていないことから、国の動向を注視し、判断したい。どういつ形を進めていくのか、現在検討しているところ。

議員13名が一般質問

※一般質問とは議員個人が行財政状況や今後の方針などを市に問うものです。

質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

録画配信でチェック！

市議会ホームページから、録画をご覧ください。
京田辺市議会 インターネット中継 で検索



水辺の散策路
(普賢寺川)

**「ゲーム障害」対策を
答 重点的な指導が必要**

喜多 和彦 議員
(一新会)

〇 本市には、市民が満足する豊かな自然がある。景観の保全状況は、また自然を生かし市民のゆるやかな繋がりを創出できないか。
(市長) 豊かな自然と都市のバランスを大切にしながら、さまざまな施策に取組んでいる。市民と企業が一体となった活動や市民と行政の協働によるボランティア活動などを支援し、市民の里山への関心を高め、活動の輪を広げることが、景観保全に大きな効果をもたらすと考えている。平成30年度は、虚空蔵谷川沿いに水辺の散策路2コースを整備する。この散策路が市民の交流や健康づくりの場として活用されることを期待している。
〇 「ゲーム障害」が人格を破壊する恐れのある病気として認定される。スマートフォン機能が含まれるネットゲームがその原因となりうるが、市の対応は。
(教育部長) 「ゲーム障害」は重点的な指導が必要な課題と考えている。専門家による講演など外部の力も借りながら子どもたちに危険性を知らしていく。またスマートフォンの使い方については、家庭の協力が欠かせない。保護者に対してもお願いや啓発を行っている。
〇 大住工業専用地域の拡大事業の進捗状況は。
(市長) 31年度中の土地区画整理組合の設立認可を目指している。早期の組合設立に向けて物心両面からの支援を行っている。



田辺中央交差点

**災害発生時訪問介護は困難
答 事業所が対応を決めるべき**

南部 登志子 議員
(無会派)

〇 災害に強いまちづくり。
①大雨時、川沿いにある普賢寺児童館を避難所とすることは非現実的。見直しを。また近隣市町の避難所の方が近い場合は、そちらへ避難できるように連携を。②在宅避難者対策を。③災害発生時の居宅訪問介護は危険を伴う。市は事業所に対して指針を示すべき。
④災害発生時の外国人への情報提供は必須。早急に対策を。
(危機管理監) ⑦中山間地域は自主避難できる市の施設の確保が困難。地区公民館を活用している。また、近隣市町とは協定で避難者を受け入れていたことになっている。
⑧生活情報についての支援や医療体制の確保などは今後の検討課題。⑨他市町村の事例を参考に研究していく。
〇 事業所が対応を決めるべき。今後の課題については、災害時の研修を受けてもらう段階。
〇 新田辺駅西側の交通問題。⑥西住宅、北田辺地区の通学安全対策とゾーン30の設定を。④田辺中央病院の来院者駐車場が住宅地の中に移る一層の安全対策を。⑤中央交差点に右折信号の設置を。
(建設部長) ⑦地元自治会、田辺署とともに検討する。④地元自治会、事業者とともに行政がやるべきことも含めて協議をする。⑤田辺中央交差点には近い距離に信号が4機あり、一体制御されている。そのため、右折矢印信号を追加すると、直進青信号の点灯時間が短くなり、かえって交通渋滞を招くため設置は困難。

用語の解説

ゲーム障害
(3面右5・6段目)
オンラインゲームなどへの過度な依存により日常生活に支障をきたす疾病。世界保健機関(WHO)は平成30年に公表予定の国際疾病分類に新たな疾病として盛り込む方針を示している。

SDGs (エフデジーズ)
(4面右3段目)
平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のこと。国連加盟の193カ国が28年からの15年間で達成するための17の大きな目標と169のターゲットで構成される。

障害者雇用率
(5面右7段目)
身体障害者及び知的障害者について、一般労働者と同じ水準において常用労働者となり得る機会を与えるために設定される、常用労働者の数に対する割合のこと。